

2021/10/25 (月)

朝の礼拝

聖書 ルカによる福音書 15章 22節 (新約聖書139頁)

しかし、父親は僕たちに言った。『急いでいちばん良い服を持って来て、この子に着せ、手に指輪をはめてやり、足に履物を履かせなさい。』

神の愛という制服

皆さんがよくご存じの放蕩息子の話です。父親の財産を使い果たし、家に帰ってきた息子を迎えた場面です。息子は裸足のまま、おそらくぼろぼろの布を一枚まとっただけだったのかもしれない。ほとんど裸同然の状態だったでしょう。

それより少し前、聖書には「まだ遠くに離れていたのに、父親は息子を見つけて、憐れに思い、走り寄って首を抱き、接吻した。」とありました。この父親は息子の罪の告白もほとんど聞かずに、ただ喜びにあふれて息子を迎えているのです。

父親はいちばん良い服を着せ、手に指輪をはめ、裸足に履物を履かせることで喜びをあらわしました。父親はいちばん良い服を着せて暗黙の内に息子の過去を覆い、その罪を赦しているのです。罪を犯した息子を愛しているのです。

いちばん良い服、指輪、履物とは神の愛のしるしです。息子の全身を神の愛で包みたいのが、この父親の願いなのです。皆さんが英和女学院の制服を着ているわけも、神の愛があなたのすべてを包んでいるというしるし、証しなのです。

しばらく黙祷しましょう。

祈りましょう

英和女学院、英和生を愛し守られる主よ、本日から衣替えとなり神様の愛に包まれて学校生活を送る恵みを感謝します。これから英和祭、スタディ・ツアー、全校修養会、創立記念日と続きます。特に高校3年生は新たな道へ向かって試みの時を迎えています。あなたの恵みと導きを信じて、ベストを尽くすことができますようにお守りください。今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン